

にじいろぱれっと・富岡町心の復興事業

～特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会(略称:SOAT)～

富岡町心の復興事業計画書

取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要:富岡町に帰還した住民と避難先住民に対し、①世代を越えた地域内交流の促進 ②生きがいづくり ③心身のケア を目的としたアートワークショップを行う。開催にあたっては住民が段階的に企画・運営に主体的に参画し、造形作家・専門家が講師、サポートを行う。

1. 取組の効果
- ①世代間交流:世代を越えた「顔見知り」が出来、地域内でお互いをゆるやかに気に掛けていく繋がりがつくり。大人にとっては富岡町の子どもたちに触れ合う喜び、子どもたちにとっては地域の大人たちを通して富岡町を感じ、知る、学びの機会となる。
 - ②生きがいづくり:令和5年度の活動で住民がアートワークショップの企画・準備などに参画する機会を創出し、その結果顕在化していない「地域の為、誰かのために働きたい」という住民力を引き出す事が出来た。令和6年度は、その顕在化した住民力を一過性のものとせず、持続可能な仕組みや環境づくりに繋げていく。
 - ③心身のケア:ものづくりによる心のケア、また住民の交流機会創出の場としても継続して行っていく必要があると考えている。ものづくりに集中する時間、作品が出来上がる喜び、参加者同士で褒め合うなどの交流、同じ興味や趣味を持つ住民同士の出会いによる新たな人間関係づくりは心のケアに繋がっている。

2. 事業の特徴
- 東北の造形作家を支援する会(略称:SOAT)は造形・美術をはじめ、衣食住に渡り多彩な専門家集団である。多彩な専門性は幅広い住民の参加動機となり、また専門家が指導・サポートを行う事は住民のモチベーションアップにつながり、専門的な経験を通して知識を得ることは住民主体の継続した活動の礎になる。

取組内容

- 【「アートワークショップ」、実施主体:SOAT、お手伝いボランティア、連携団体】
- 住民と子どもたちによる共同制作
 - ・8月～2月 月1回実施 対象は富岡町住民と富岡町の子ども
 - ・連携団体、お手伝いボランティア、住民とプロジェクトを立ち上げ進めていく
 - ものづくりサロン
 - ・4月～2月 富岡町内各月1回、避難先年1回。対象は富岡町住民と富岡町の子ども
 - ・多様な町民(特定の団体などに所属していない住民など)の参加が見込まれるため、ものづくりサロンを通して各種プロジェクトの導入も行う機会ともし、幅広い住民の参画を促す。

- 【「お手伝いボランティア」、実施主体:SOAT、お手伝いボランティア、連携団体】
- アートワークショップ開催に関わるボランティア(「お手伝いボランティア」)をものづくりサロンなどで募集し年間を通した活動を行う。
 - ・5月～1月 月1回活動
 - 持続可能な仕組みづくり
 - ・ボランティア主体のアートワークショップの開催
 - ・富岡町ボランティアセンターとの共同



次年度以降の展開

○本事業実施の中で、継続が必要な事業を見極め判断を行う。財源については令和7年度募集事業より適切な財源に応募する